

劇場映画企画

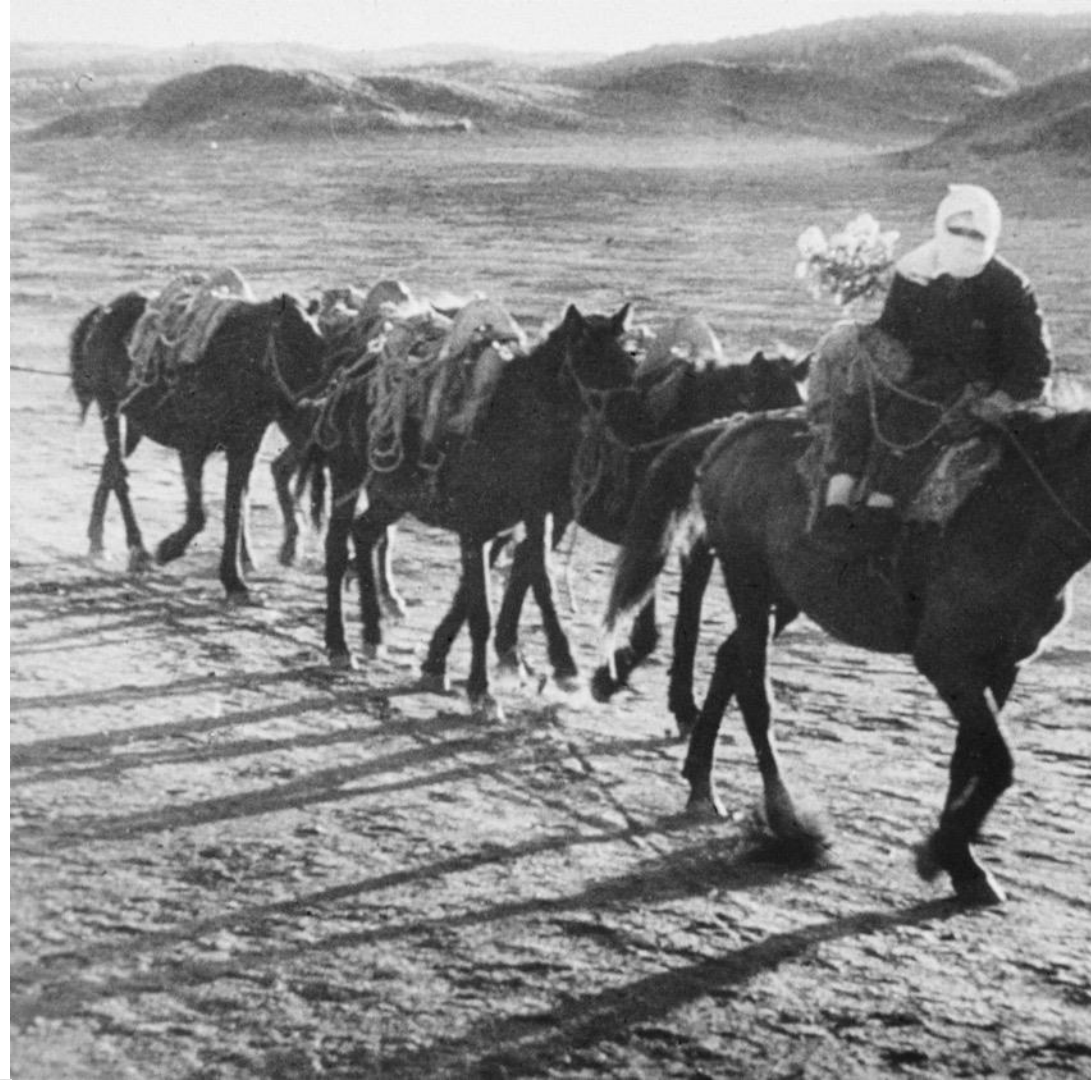
映画「北の流氷」(仮題)

砂漠化していた襟裳岬に木を植え続け
半世紀かけて森と海を生き返らせた物語

山が豊かになると、
海が豊かになる。
人が自然を守り、
自然が人を守る。

映画「北の流氷」(仮題)製作準備委員会
えりも町・浦河町・様似町・広尾町

映画「北の流氷」(仮題) 製作事業について



映画「北の流氷」(仮題)製作事業は、浦河町、様似町、えりも町、広尾町による地域振興と観光誘致を目指したプロジェクトです。映画は、昭和20年代後半に「えりも砂漠」とまで呼ばれた荒廃した襟裳岬で、地元の昆布漁師たちが半世紀をかけて木を植え続け、森と海を甦らせた実話を基にしています。この緑化事業は2023年に開始から70年を迎えました。映画を通じて、この貴重な歴史と四町地域の魅力を国内外に広め、地域の活性化と観光客の誘致を図ることを目的としています。





緑化が進む現在のえりも岬国有林

①映画のテーマである植樹を子供たちに伝え
取り組む力を育てる

②日高山脈襟裳十勝国立公園を活用した
緑化活動の発信

-
- ・ **映画記念の森づくりや講演会などを実施**
映画製作を記念した植樹活動を行い、将来にわたって地域のシンボルとなる森を育てる。緑化事業の歩みを地域の子供たちや学生に伝え実際に体験できる機会を提供。環境学習や講演を行い地域への愛着を育むと共に環境に対する意識を高める。
 - ・ **緑化事業を題材とした映画のPR及び**
国立公園内でもあるえりも岬を中心に緑化活動の発信
緑化事業を題材とした映画が上映されることを促し、町民、観光客への関心を高める。
 - ・ **持続可能な地域づくりへの貢献**
映画製作をきっかけに、地域の自然や文化の価値植樹を再認識し、次世代へと繋ぐための持続可能な地域づくりを推進していく。

北の

山が豊かになると、
海が豊かになる。
人が自然を守り、
自然が人を守る。

砂漠化していた襟裳岬に木を植え続け、半世紀かけて森と海を生き返らせた物語。



流氷

企画 田中光敏
監督 小松江里子
脚本 小松江里子
音楽 久石譲

映画「北の流氷」(仮題)
製作準備委員会
「北海道」
えりも町 浦河町 様似町
広尾町 日高信用金庫

(仮題)

映画「北の流氷」(仮題)について

2025年7月末のクランクイン、2026年夏以降の全国劇場公開を目指しており、公開後には、映画の一過性の人気にとどまらず、長期的な観光振興につなげる方策を模索し、持続的な集客効果を目指します。

